

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

秋冷の続き蜜柑は色づきてそのみ明るし夕暮の庭
わが窓をかすめて過ぐる小さき鳥つれそひゆくかふたつの影は
蒼空に引かるる白き飛行機雲たちまちくねり大蛇となりぬ
畑一面こぼれ種咲くコスモスの日暮の風に揺れやまざりき
曼珠沙華墓への道に紅の陽をこぼし咲く彼岸中日

三村 和子
佐竹喜久雄
辻田 幸也
加治 智子
福田 昌

はな・ほのぼのの句会

池田一步選

病窓に朝夕雀小春かな
移り住み正に万点庭紅葉
明るさを取り留めてをり天高し
運動会老いの声にも張りのあり
幟旗小春の風にはためきて
朝夕の寒さ俄かに園通ひ
中秋の空高く澄み心すみ
プレゼントもらって嬉し敬老会
佇めば句碑に師の声身に入みる
一時雨ささうな膝の痛みかな

本島真知子
桑野 園女
井上タミ子
持丸テル子
中西ナルエ
永末 公恵
宇野美奈子
大堀まさる
熊谷カツミ
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

霊山を法螺の音渡る文化の日
秋の暮さびしい時は猫を抱き
吊されて真つ赤が尖る唐辛子
淋しさに友呼ぶ鈴か残る虫
鈴なりと言ふはこの事里の柿
清冽や天領日田の水の秋
木々揺らす風晩秋の里ごころ
裏口に何食はぬ顔十三夜
瓦師の忍者歩きや天高し
木犀の香の行き止まる尼の寺

松岡 萬枝
建部三由紀
日比生利子
永尾喜美江
小川 雪
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
吉村ヨシ子
花石かほる

方城句会

池田一步選

苔寺の起伏に石露の黄を置きぬ
秋の夜の流星群に糸通す
一作に入魂観たり文化の日
秋深山路にひそと菜葉の花
熟し柿子供頃の頃の遠い味
見送りて次の約束後の月
好日の雲も置かざる今朝の冬
陶然と秋の光を背に受けて
紺青の秋の海航くサンフェリー

尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
野村 鈴子
藤井耿之介
渡邊 一枝

福智の風

▶幼いころ、手をひかれて通った商店街。20年ぶりに街中を歩きましたが、いつもオマケを楽しみにしていたお店など、思い出の店がいつの間にか姿を消していたことに気づきました。改めて考えてみると、自分自身もこの街の衰退に加担してしまっていたのだと反省させられます▶忙しい日々を追われ、時間的な余裕だけでなく、心のゆとりまでも持たなくなってしまうがちな現代。そんな中で商店街には、人々が見失いつつある“大切なもの”が、今も変わらず残されています▶広報ふくちNo.48のテーマは「つながり」。一人ひとりが街の歴史やつながりを再確認し、それを絶やさず後世へとつないでいくことが、今を生きるわたしたちの使命なのではないでしょうか。(日吉)

xperience

市場小児童が初めて6泊7日の共同生活にチャレンジ

親元を離れた共同生活から、体験によって生きる力を身につけることを目的とした「通学合宿」が、市場小児童を対象にコスモス保健センターで行われました。46人の応募があり、抽選で1年生から6年生までの18人が参加。10月25日から6泊7日もの間、日ごろ親に頼りがちな調理や後片付け、洗濯や掃除などの規則正しい生活を協力して行いました。家族の大切さや人との関わり方を見つめ直した子どもたちは、最終日にひと回りたくましくなった表情を見せ、迎えに来た家族に感謝の気持ちを込めて、自らが調理したカレーを振る舞いました。



福智町通学合宿事業

全国展で上野から4人が入選



国内最大規模の工芸公募展で今回56回目を数える「日本伝統工芸展」に、福智町から熊谷保興さん(熊谷本窯)の「上野肩衝茶入」、田中清山さん(清山窯)の「上野鉄釉肩衝茶入」、渡久兵衛さん(渡案)の「上野鉄釉櫛目文平水指」、渡仁さん(渡案)の「上野ヤケ釉壺」が入選しました。陶芸部門に1171点もの応募がある中、厳しい審査を経ての好結果。なかでも渡さん親子は、前回の「日本陶芸展」に続く親子入選を果たしました。今回の全国展で上野から4人が入選し、郷土が誇る伝統的工芸品「上野焼」の卓越した技と美への高い評価が示されました。

traditional craft

タウンピックス & ニュース in FUKUCHI

Public auction

滞納者から差し押さえた物品を販売する「公売会」が10月20日に開催され、福智町も参加しました。これは県と県内の10市8町村合同による初めての試みです。約200人が訪れた会場には、家電・絵画・陶器・貴金属などが並び、反響も上々でした。出品された301点のうち、最終的に186点が売却され、売り上げは約237万円。福智町の物品にもその大半に買い手がつき、滞納町税の解消につながりました。今回、この公売会が開かれたように、滞納すれば大切な財産が差し押さえられかねません。税金は必ず納期限内に納付してください。



県と市町村による合同公売会

滞納町税解消のため福智町も参加

徴収のエキスパートが福智町で講演



田川地区の行政職員を対象にした意識改革研修が、10月22日に福智町同和対策研修センターで開催されました。国から地方への税源移譲により住民税の滞納額が増え、市町村ではこれまで以上に自主財源の確保が迫られるなか、全国屈指の徴収率を誇る福島県で辣腕を振るってきた宇月辰志氏を講師に招き、公務員の心構えとあるべき姿を学びました。「滞納者の目線ではなく、納期限までにきちんと納めている納税者の目線に立ち、機械的に公平かつ厳しく差し押さえをしなければならぬ」という言葉に、約200人の参加者は大きくうなずいていました。

workshop

意識改革と滞納整理の業務研修会

写真が語る
な丸の写真館

金田保育園での昼食風景
撮影者●不明
撮影日●昭和28年ごろ

大正14年創立の金田保育園は、県内で最も古い保育所の一つ。園児数が過去最多の昭和28年ごろ、年長組は約90人(現在の3倍)で、保育士1人で受け持っていたそうです。

昔の写真を探しています!
園企画課広報・広聴係
☎22-7766